

平成13年度の高校進学状況とまる

■表1 普通科の入学者数

通学区域	学校名	入学者数	
		H13	H12
第4学区 (三条・西蒲) 許容率25%	巻川	7	4
	西白三	105	130
	三条	15	5
	加茂	23	32
	学区計	171	180
第3学区 (新 湯) 許容率15%	新新	5	12
	新新	13	23
	新新	15	15
	新新	18	13
	新新	24	31
	新新	0	1
	新新	4	7
	新新	12	25
	新新	3	7
	新新	9	11
学区計	103	145	
第2学区 (新津・五泉) 許容率20%	新津	31	25
	学区計	6	0
私 立	青陵	21	25
	明星	8	2
	加茂	17	13
	北新	8	2
	加茂	6	6
	北新	22	17
	加茂	24	15
	北新	4	4
	計	110	84
	合 計	421	434

■表2 普通科以外の入学者数

通学区域	学校名	入学者数	
		H13	H12
第4学区 (三条・西蒲)	農業園	10	2
	工業	2	1
	川竹	4	0
	三条	6	5
	加茂	4	4
学区計	33	24	
第3学区 (新 湯)	新新	1	0
	新新	4	1
	新新	1	6
	新新	19	28
	新新	0	1
	新新	27	26
	新新	0	2
	新新	2	4
	新新	2	4
	学区計	54	68
第2学区 (新津・五泉)	新津	0	10
	学区計	8	10
私 立	青陵	1	2
	明星	6	2
	加茂	2	6
計	9	10	
その 他	計	12	4
そ の 他	計	7	12
合 計	計	123	138

※表1・2とも進学者のある学校のみ掲載

平成十三年度から学校選択幅の拡大等を目的とした「県公立高等学校の通学区域に関する規則」の改正が行われ、隣接学区からの入学が許容率、いわゆるパーセント条項によって制限されることとなりました。

白根市においては、これまで認められていた共通区域が廃止され、一部を除いて一律このパーセント条項の適用を受けることとなり、今春はじめての入試が実施されました。

その結果、新湯学区では新湯江南高校、新湯西高校において特例措置が実施され、隣接学区からの入学許容率が増員されました。

■本年度の進学状況
白根市の今春の中学校卒業生は昨年より二十八人少ない五百四十四人でした。

進学状況を学区別にみると白根市の属する三条・西蒲学区へは昨年と同数の二百四十人。そのうち地元白根高校へは二十五人減の百五十五人でした。また、隣接学区については、新湯学区へは五十六人減の百五十七人、新津・五泉学区へは昨年と同数の四十五人でした。このうち普通科は、三条・西蒲学区が九人減の百七十一

人、新湯学区が四十二人減の百三十三人、新津・五泉学区が十二人増の三十七人でした。また学区の制限を受けない私立高校への進学者は全体で二十五人増の百十九人でした。

改正後はじめての入試であり、不安感が増したことから、各中学校では進路指導の充実に努めたところで、しかし、通学手段の限られる地域においては競争激化の懸念校を避ける傾向があったものとも考えられます。このことは、情報提供・適切な説明の不足も一因としてあったものと受け止め、今後、教育全般に関して市民との対話を進めていくとともに、学区内にある高校についても整備充実を図っていかねばならないものと考えます。

■魅力ある学校づくりのために
この改正により隣接学区間においては相互交流が可能となり、魅力ある公立高校を生み育てる期待がある一方、特定の高校に集中するといったことも懸念されています。

また、高校入学後の中途退学者が減らないことも大きな問題として出てきており、魅力ある学校づくりの必要性がさらに強く求められています。

今後、市教育委員会としては進路指導の一層の充実と学習環境の整備、市内中学校と地元高校の交流活動の推進、高校入学後の状況調査等を実施するとともに、通学のための公共交通手段についても検討していきたいと思えます。

7部門に237点。力作そろそろ

第29回白根市美術展覧会

六月六日から十一日までの六日間、白根学習館で白根市美術展覧会が開かれました。今年も日本画、洋画、版画、書道、写真、彫刻、美術工芸の七部門に二百三十七点と、どれも力作ぞろい。期間中は多くの人が訪れ、その素晴らしい作品に見入っていました。入賞者は次のとおりです(敬称略)。



【市長賞】
日本画 薄田弘(四ツ興野) 洋画 本間芳博(湯東村) 書道 皆川緑那(味方村) 写真 山宮繁雄(水道町五) 美術工芸 関屋笑美子(諏訪木七)

【議長賞】
日本画 薄田フユ(味方村) 洋画 田原宏明(大通南) 書道 渡辺弘山(丸湯) 写真 木下信雄(味方村)



【教育長賞】
日本画 入山寿々子(保坂) 藤崎久子(東町) 洋画 牛脇政春(日の出町) 書道 織原千翔(二の町) 木村華苑(月湯村) 西方一幸(能登二) 林子光(味方村) 写真 武田辰夫(蔵主) 美術工芸 阿部貴幸(東町)

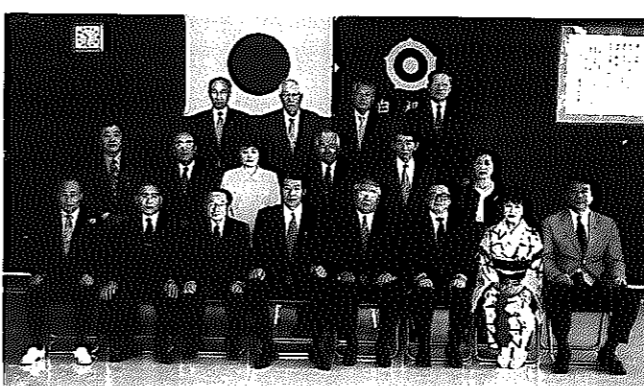
【協会長賞】
日本画 夏川久美子(桜町五) 樋口久江(みの口) 洋画 川瀬美優喜(水道町五) 牧野悦子(鯉湯二) 書道 近藤静江(鯉湯二) 高野恒月(古川団地) 松川仁志(三条市) 間嶋久美子(月湯村) 渡辺久江(日の出町) 写真 笠原行太郎(道湯) 木下弘(桜町三) 桑原太郎(魚町六)

市政の振興に貢献

平成13年度市政功労者表彰

六月一日、市役所大会議室で市政功労者の表彰式が行われました。市政の振興に功績のあった十五人と、一団体が表彰され、吉沢市長から表彰状が贈られました。

市ほう賞規則に基づき、表彰を受けられたかたは次のとおりです(敬称略)。



【自治功労】田巻健一郎(上浦・五十二歳) ※平成十三年四月四日付け
：多年にわたり消防団分団長として、消防防災業務に寄与されました。
高橋裕(戸頭団地・五十二歳) ※
和田栄七郎(保坂・七十五歳)、高橋末江(西笠巻新田一・七十三歳)、渡辺義一(下大郷一・六十九歳)、渡辺康(下赤浜・四十九歳)、多年にわたり市議会議員として、市政の発展に寄与されました。

高橋辰雄(瀬ヶ通・七十二歳)、大矢惇(根岸・六十七歳)、吉田幸雄(下笠巻・六十七歳)、細井一嘉(沖新保・六十四歳)、桜井政英(西笠巻二・五十八歳)：多年にわたり農業委員会委員として、地域農業の発展と地方自治の振興に寄与されました。

荏原ムツ(諏訪木四・六十六歳)：多年にわたり民生委員児童委員として、社会福祉の増進に寄与されました。石崎昭一(中央通三・七十三歳)：多年にわたり学校医として、学校保健に寄与されました。布川千穂(庄瀬七・五十八歳)：多年にわたり学校薬剤師として、学校保健に寄与されました。

【感謝】明和工業(株)：第十八回新潟県経済振興賞の受賞を記念され、市勢の伸張のために多額の寄付をされました。